

(別紙)

2026年度(令和8年度)幼稚園評価自己評価表

最終更新日	2026年(令和8年)5月1日	園番39	福山市立	道上	幼稚園
-------	-----------------	------	------	----	-----

1 幼稚園教育目標

自分らしさを発揮しながら夢中で遊ぶこどもの育成

2 目指す自園の幼稚園像(ビジョン)

- ・一人ひとりが自分らしくいられる幼稚園
- ・じっくり ゆったり たっぷり遊べる幼稚園
- ・遊びを豊かにする自然いっぱいの幼稚園
- ・保護者や地域から信頼され愛される幼稚園

3 目指す幼児像

- ・夢中で遊ぶこども
- ・思いやりのあるこども
- ・自分で考え行動するこども
- ・最後までやりぬくこども

4 自園の現状分析(地域環境・園の環境・幼児観・保護者、地域との連携協力・現状課題など)

本園は、郊外の田園地域であったが、近年住宅が増えて市街化の様相をみせている。学区内に公園などの施設がほとんどなく、自然に触れてのびやかに育つ環境が少なくなり、幼稚園が唯一の遊び場になっている。核家族化・少子化が進む一方で、地域の人々のつながりは強く、地域の幼稚園として人の優しさや温かさを感じながら支援を得ている。

幼児は好奇心旺盛で、身近な環境に興味・関心をもって触れたり、遊びに取り入れたりしている。しかし、かかわりのなかで自分の思いを豊かに表現することができにくく教師の指示を待ったり、場を転々としたりしてじっくり遊べない姿もみられる。家庭背景や発達の様子も多様で、生活経験・社会経験の少なさが感じられ、個別の支援を必要とする状況が多くみられる。そのため細やかな家庭連携と、一人ひとりの個性や育ちを丁寧に見取り関わっていく必要がある。そこで、一人ひとりの幼児が安心して自己発揮ができること、充実して遊べる環境の工夫や支援を行うなかで幼児自ら環境に働きかけ、それらのかかわりに喜びや面白さを感じられる豊かな体験活動となっていくこと、これらが主体的なこどもを育てていく本園の取組みの一環である。

5 今年度の重点目標と設定理由(ビジョン実現のために)

重点目標	設定理由
◎遊びの充実を通して主体的に行動する力や人とかかわる力を育てる。	・幼児が、友だちや教師とかかわりながら安定し、ゆったりとした環境のなかで自分の思っていることや考えていることを表現したり、共に遊びを考えたりし、楽しく充実した生活を進めていけるようになるため。また、友だちの存在を感じながら互いのよさがわかり、我慢したり、気持ちを切り替えたりして、楽しく遊びを進めることができるようになるため。
◎子育て・家庭支援の充実	・人やもの、こと、自然に興味を持ち、不思議さや面白さを感じながら根気強く取り組んだり、試したり工夫したりすることによる協同的な活動を通して、学びの基礎的な力を培いたため。 ・多様化する家庭背景や発達の姿を理解し、個々に寄り添いながら幼稚園と保護者が同じ方向性をもってこどもの育ちを見守っていくため。

(別紙)

6 目標・方策・評価

※【評価】 Aー達成した Bーほぼ達成した Cーじゅうぶん達成していない Dー達成していない

福山市立道上幼稚園

	3年間の目	1年間の目標	具体的な方策	評価 学期	評価結果	
					○=反省や課題	◎=改善のための方策
生きる力の基礎	主体的に行動する力や人と関わる力を育む。	身近な環境に親しみ、自然と触れ合う中で様々な事象に興味や関心がもてるようになる。 ※教師の見取り	<ul style="list-style-type: none"> ・幼児自ら興味をもち「やってみたい」と働きかけることができるよう、季節に応じて戸外遊びの環境を工夫する。 ・活動を楽しむ中で、発見や考えることの楽しさを味わい、やり遂げる達成感が味わえる取組を行う。 			
		自分でしたくやかたづけができる子を80%以上にする。 ※教師の見取り	<ul style="list-style-type: none"> ・視覚支援等環境を工夫し、自分で気が付いてできるよう促す。 ・個に応じてスモールステップで達成感が味わえるようにする。 			
教師の役割	個の成長を長いスパンで見取る。	教育支援計画を基に、3年間の成長を教職員や保護者と共有していく。	<ul style="list-style-type: none"> ・幼児の姿から見えてきた特性や成長を分析して幼児理解を深めるとともに、集団としての育ちを職員で共有する。 			
	自分らしさを発揮しながら友だちの存在を感じ、共に育ち合う保育の実践	専門性を高めるための研修を計画的に実施する。(90%以上) <ul style="list-style-type: none"> ・保育者の振り返りの工夫 ・教育研究テーマに基づき、エピソード研修、外部講師を招いた研修等を計画的に行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・写真を用いた保育カンファレンスを定期的に行い実践に生かす。 ・学期に1回エピソード研修を実施し職員間で主体的交流を図る。 ・不適切保育についての研修の実施 			
信頼される幼稚園	保護者、地域との信頼関係を築く。	毎学期終了時の保護者アンケートでの満足度「わが子は喜んで幼稚園に通っている」を90%以上にする。	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェルキッズを活用して、子どもの姿をタイムリーに発信する。 ・保護者の思いを丁寧に聴き、教職員で共有する。 ・学期ごとにアンケートを実施する。 			
		未就園児の会を工夫し、毎回10名以上の参加をめざす。	<ul style="list-style-type: none"> ・HPやポスター等で周知の工夫をする。 ・保護者の思いを聴きながら、気軽に相談できる仕組みを作る。 			

【生きる力の基礎】ー 健康・人間関係・環境・言葉・表現 【教師の役割】ー 計画的な環境構成・活動場面における教師の役割・人材育成

【信頼される幼稚園】ー 情報提供・他の公共機関との連携・幼児と地域住民との人間関係づくり・教育相談